三省堂　高等学校国語教科書

指導書ダイジェスト

現代の国語 …… p.2

言語文化 …… p.14

SSD三省堂

※この資料は一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。
※紙面・内容は2025年4月現在（編集中）のものであり、今後変更となる場合があります。

三省堂
「ことまな学校サポートサイト」のご案内

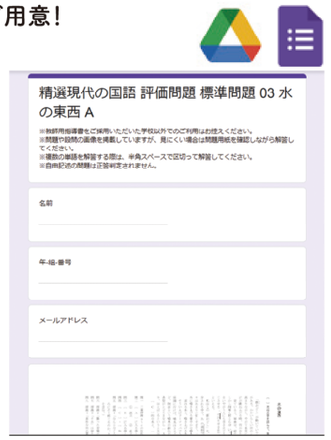
最新の豊富な指導用データをダウンロードできる！
「ことまな学校サポートサイト」から、
三省堂教科書・教材への世界が広がります。

- ●お使いの教科書や学習参考書などに応じて、それぞれの商品の指導用付属データなどをダウンロードし、ご利用いただくことができます。
- ●学校ごとにID・パスワードを発行しますので、校内の複数の先生方でご利用可能です。
- ●追加データがある場合も随時更新していきます。
- ●セキュリティその他の理由により、ダウンロードに対応できない場合は、DVD-ROMにてデータをご提供いたします（要申請）。

先生方のChromebookを指導に使いこなす！付属データには、Google フォームもご用意！

Googleアカウント連携「ことまなD」

- ●「ことまなD」は、先生方がお持ちのGoogleアカウントと連携して、指導用データやGoogleフォームのデータを当該アカウントの「Googleドライブ」にコピーし、ご利用いただくことができる仕組みです。
- ●上記「ことまな学校サポートサイト」とリンクしていますので、ご採用の教科書・教材に合わせたデータを閲覧・ご利用いただくことができます。



NEW!! 令和8年度版教科書より、Microsoftフォームズ形式のデータも提供予定！

◎三省堂指導書の特徴

1 使いやすい三点構成！

● 指導書は、いずれの書名も以下の三点で構成されています。

1 指導資料（冊子）
2 教師用教科書（冊子）
※分売可
3 指導用データ（ダウンロード、ROMでの提供にも対応）

● 授業準備、および実際の授業に必要十分な資料・データ類がそろっています。

2 提示用パワーポイントが同梱！

● いずれの書名にも、教科書本文や授業展開に合わせたパワーポイントデータをご用意しています。

● 文章構成をわかりやすく示した展開図パワーポイント、授業にそって板書の代わりとして使える板書パワーポイント、古典の本文や口語訳を提示する本文パワーポイントが、追加の費用負担なしでお使いいただけます。

3 多種多様なテスト問題を用意！

● それぞれの教科書に応じ、基礎から入試レベルまで、多種多様な難易度別テスト問題データが収録されています。

● Googleフォームで出題・解答を集約する際のテンプレートもご用意しています。

現代の国語 指導書

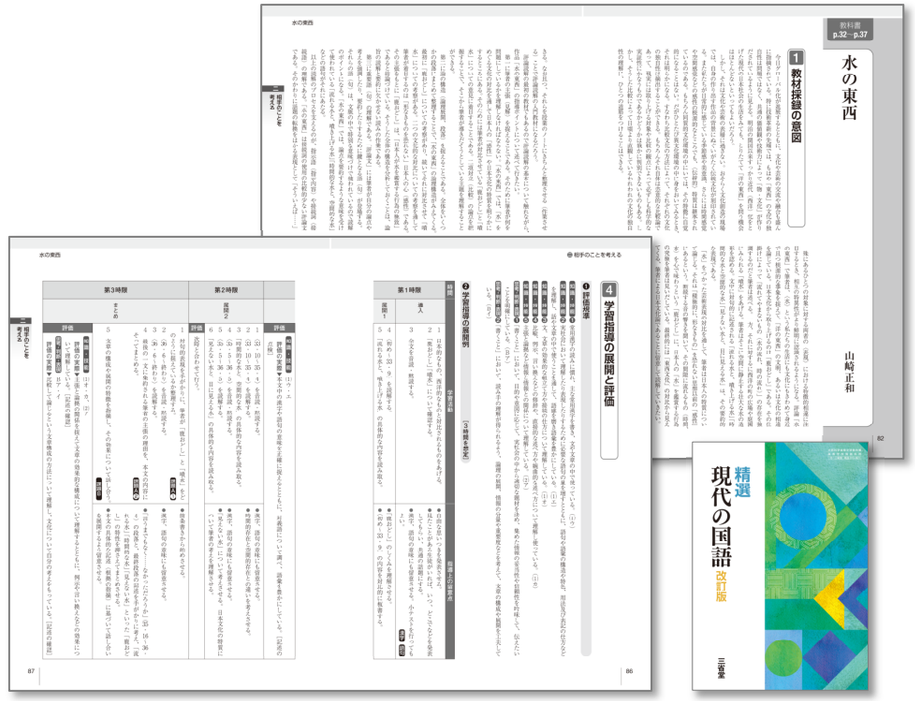
指導資料ＰＤＦ版……2
教科書紙面データ／教科書原文データ……3
難易度別テスト問題……4
実用文読解練習問題……5
知識・技能確認問題……6
思考力・判断力・表現力トレーニング課題……7
構成・内容理解シート……8
語句シート／語彙と漢字シート……9
提示用パワーポイント……10
学習課題ノートデータ……11
付属教材集……12

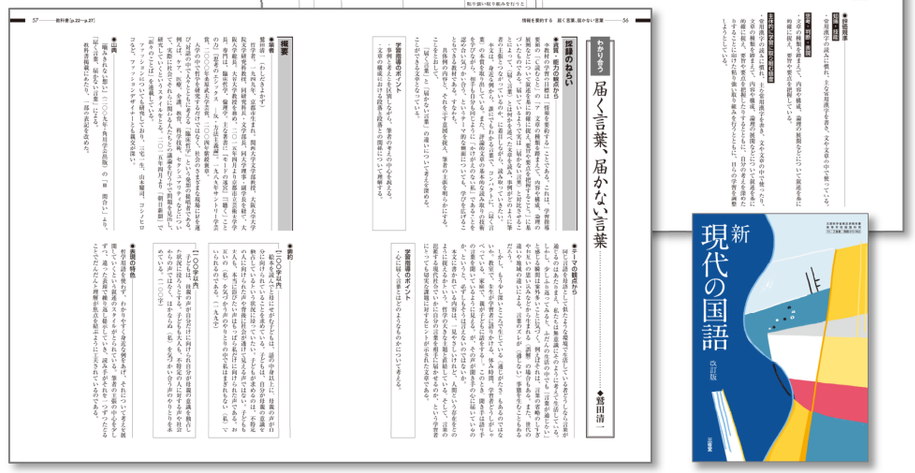
言語文化 指導書

指導資料ＰＤＦ版……14
教科書紙面データ／教科書原文データ……15
難易度別テスト問題……16
知識・技能確認問題……17
思考力・判断力・表現力トレーニング課題……18
構成・内容理解シート／語句シート……19
書き下し文・口語訳データ……20
品詞分解シート……21
提示用パワーポイント……22
学習課題ノートデータ……23
付属教材集……24
漢文エディタ……25

◎指導資料PDF版

PDF





指導書内の指導資料のPDF版。タブレットに入れて持ち運んだり、必要な情報を検索したりすることができます。

◎教科書紙面PDF

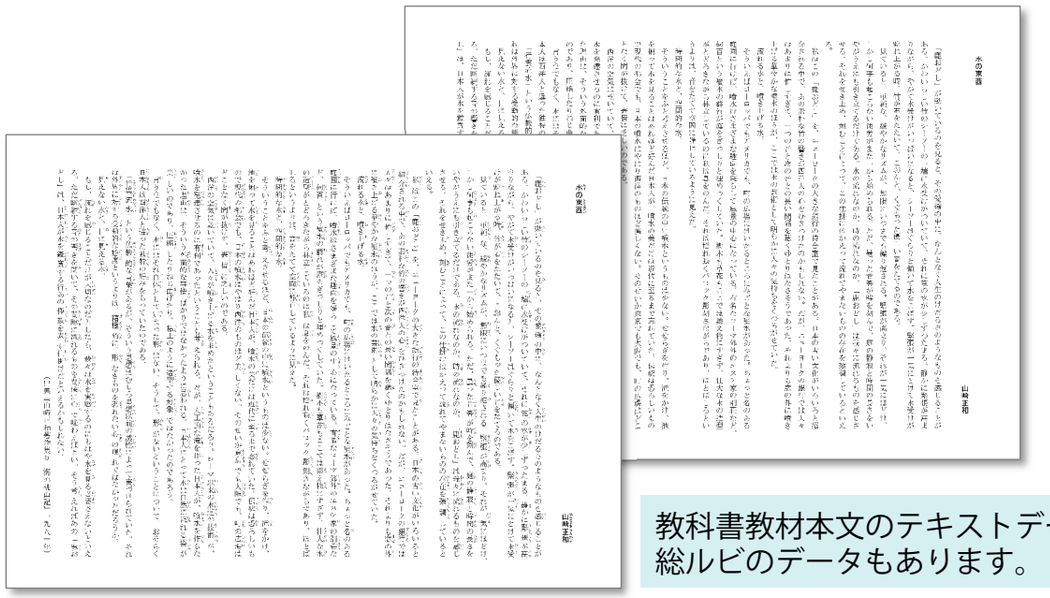
PDF

教科書紙面のPDF版。タブレットに入れて持ち運んだり、教科書紙面を大きく提示したりすることができます。

◎教科書原文データ

W

太



教科書教材本文のテキストデータ。総ルビのデータもあります。

◎難易度別テスト問題 W 太

水の東西

山崎正和

〔 ）次の文章を読んで、後の問いに答えよ。　【標準問題1】

「鹿おどし」が動いているのを見ると、その愛嬌のある音に、なんとなく生命のけだるさのようなものを感じることがある。かわいらしい竹のシーソーの一端に水受けがついていて、それに貯まった水が少しずつたまると、静かに緊張が高まりながら、やがて水受けがいっぱいになると、シーソーはくるりと傾いて水をこぼす。緊張が、気にとけて未受けが跳ね上がる時、竹が石をたたいて、こおんと、くくもった優しい音をたてるのである。

見ていると、単純な、緩やかなリズムが、無限にいつまでも繰り返される。緊張が高まり、それが一気にほどけ、しかし何事も起こらない一日々がまた一から始められる。ただ、張った緊張が時を縫んで、庭の静寂と時間の長さをいやがうえにも引き立てるだけである。水の流れたのか、時の流れたのか、「鹿おどし」は我々に流れるものを感じさせる。それを引き止め、刻むことによって、この仕掛けはかえって流れてやまないものの存在を強調しているといえる。

私はこの「鹿おどし」を、ニューヨークの大きな銀行の待合室で見たことがある。日本のたい文化がいろいろと紹介される中で、あの素朴な竹の響きが直弁人の心をひきつけたのかもしれない。だが、ニューヨークの銀行ではみな仕事はあまりに忙しすぎて、一つの音と次の音との長いカンカクを隠くゆとりはなさそうであった。それよりも意の外に噴き上げる華やかな噴水のほうが、ここでは水の芸術として明らかに人々の気持ちをくつろがせていた。

流れる水と、噴き上げる水。

そういえばヨーロッパでもアメリカでも、町の広場にはいたるところにみごとな噴水があった。ちょっと名のある庭園に行けば、噴水はさまざまな趣向を凝らして風景の中心になっている。有名なローマ郊外のエステ家の別荘など、何百という噴水の群れが整然きっちりと埋めつくしていた。樹木も草花もここでは添え物にすぎず、壮大な水の造型がとどろきながら「 A 」しているのに私は「 B 」をのんだ。それは清れ動くバロック彫刻さながらであり、ほとばしるというよりは、音をたてて空間に静止しているように見えた。

〔 C 」的な水と、「 D 」的な水。

問一　二重傍線 a～e の片仮名を漢字に直せ。

問二　「 A 」に入る語として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

①　直立　②　乱立　③　起立　④　林立

問三　「 B 」に入る語として最も適切な漢字一字を記せ。

問四　「 C 」・「 D 」に入る語として最も適切なものを、文中からそれぞれ漢字二字で抜き出せ。

問五　傍線1「なんとなく人生のけだるさのようなものを感じる」とあるが、筆者は「鹿おどし」のどのようなところを含む。

問六　傍線2「暴った音響が時を縫」むとは、何のどういう様子をいうのか。記せ。

問七　傍線3「それ」は何を指すか。文中から抜き出せ。

問八　傍線4「素朴な竹の響き」と対照的な評句を文中から六字で抜き出せ。

ありのままの世界は見えない

田中真知

〔 ）次の文章を読んで、後の問いに答えよ。　【標準問題】

つまり、「見る」には約束ごとが必要なのだ。これは人間も動物も同じである。動物行動学者のティンバーゲンは、セグロカモメのヒナは餌が欲しいとき、親鳥のくちばしの先にある赤い点をつつくことを発見した。ヒナは親鳥をその全体の姿で認識しているのではなく、くちばし状の形との先端にある赤い点として［ A ］しているのである。それがヒナにとって、親を認識するために先天的に［ A ］された約束ごとである。この時期のヒナには、たとえ赤い印をつけた棒であっても親鳥に見えるのである。

「どうしてセグロカモメのヒナは親鳥を全体として見ないのか」それは逆のパターンを考えればわかる。視覚に入ってくる全ての情報をインプットしてから認識するとなったら、トホウもない情報処理能力と時間が必要とされる。野生動物が、そんなことに時間をかけていては、自分の生存が危ぶまれる。そのため、いち生きる上で必要な情報だけを取り出し、わかりやすくパターン化してイメージを作りあげているのである。

セグロカモメのヒナだけでなく、人間も他の動物も、ありのままの世界や自然を、全体として認識しているわけではない。というよりも、ありのままの世界は、見たくても見ることができないのである。ありのままの世界とは、どこにも切れ目も境界もない連続体である。それは名づけようもなければ、認識しようもないものである。

例えば、我々は人体を見て、ここは肩、ここは腕、ここは手首というふうに、それぞれの［ B ］を認識する。それは「ここのあたりを腕と呼ぼう」という約束ごとに基づいている。このような約束ごとをいっさい外してしまうと、どこまでが人間の体といっていいのかわからなくなる。皮膚は人間の体の［ C ］といえるのだろうか。人間は鼻や皮膚から呼吸をしているが、その空気は体の［ D ］ではないのか。体から発散される熱は体ではないのか。そんなふうに見ていくと、「人体」という概念も、一つの約束ごとだとわかる。こうした約束ごとを全て外してしまうと、なにもかもがつながってしまい認識のしようがない。

問一　二重傍線 a～e の片仮名を漢字に直せ。

問二　「 A 」に入る語として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

①　イメージ　②　リセット　③　プログラム　④　パターン化

問三　「 B 」・「 D 」に入る語として最も適切なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

①　一部　②　世界　③　役割　④　部位

問四　「 C 」に入る語として最も適切なものを、文中から漢字二字で抜き出せ。

問五　傍線1「どうしてセグロカモメのヒナは親鳥を全体として見ないのか」とあるが、どうしてなのか。四十字以内で説明せよ。

問六　傍線2「いち生きる上で必要な情報だけを取り出し、わかりやすくパターン化してイメージを作りあげている」とあるが、セグロカモメのヒナにとって親鳥は具体的にはどんなイメージか。文中から二十字以内で抜き出せ。

問七　傍線3「ありのままの世界は、見たくても見ることができない」のはなぜか。五十字以内で説明せよ。

問八　傍線4「人体」という概念も、一つの約束ごとだ」とあるが、「人体」という概念の「約束ごと」を文中から探し、初めと終わりの五字ずつを記せ。（字数には記号や句読点を含む。）

教科書教材を使った、基礎・標準・発展の3段階難易度別テスト問題。
Googleフォーム解答用データもあります。

◎実用文読解練習問題 W 太

問　日本と諸外国の文化交流について自分の考えを書くという課題を与えられたAさんは、かつて訪日外国人旅行客が旅行中に困ったことを知って興味を持ち、そのことを例に「高度外国人材の受入れ」という題で【文章】をまとめている。【資料Ⅰ】と【資料Ⅱ】は、集めた資料をAさんがまとめ直したものである。これらを読んで、後の問い（問1～3）に答えよ。（配点　20）

【文章】（段落に 1 ～ 4 の番号を付してある。）

1　日本と諸外国の文化交流を充実させていくためには、専門的人材として外国人労働者を受入れたほうがよいことがある。その一例として訪日外国人旅行者の意識調査を取り上げたい。【資料Ⅰ】は、訪日外国人が観光時にしたことや旅行中に困ったこと、ならびに、日本人が住んでいる地域の文化的な環境を充実させるために重要だと思っていることについての意識調査である。(X) ここでは「訪日外国人の需要と受入れ環境」という点に着目して、「高度外国人材の受入れ」の意義について考える。

2　【資料Ⅱ】は、日本政府による「外国人労働者」の受入れが進展していくと、「高度外国人材の受入れ」によって、日本と諸外国の伝統文化や[illegible]性を示している。文化交流では重要なことであるにも関わらず、これまでのなかで、〈意義があるのではないかと考えらえる。

3　この提案は、少子高齢化によって文化の担い手がますます不足していく国内だけで育成したり確保したりすることができるとは言い切れない。に合わせて高度外国人材が他国に流出してしまう可能性があるからだ。高度外国人材の労働力を増加させていくことについては、外国人の送出切だろう。

4　今回は訪日外国人旅行者の意識調査を例に、高度外国人材の受入れと

問1　Aさんは「訪日外国人の需要と受入れ環境」という点に着目する理由を明確にするため、【文章】の1段落の〈X〉に文を書き加えることにした。書き加える文として最も適当なものを、次の ① ～ ⑤ のうちから一つ選べ。解答番号は 1 。

① 図1が示すとおり、特に「日本の歴史・伝統文化体験」について「他国・台湾・フランスに比べては高い。
② 図1と図2が示すとおり、特に「日本の歴史・伝統文化体験」については「他国・台湾・フランスに比べては高い。
③ 図2と図3が示すとおり、特に「日本の歴史・伝統文化体験」については全体的に徐々に増加しているものの、「課題となる受入環境の整備」については多言語対応が高い。
④ 図3が示すとおり、特に「課題となる受入環境の整備」については「ビザ・キャッシュレス化・交通アクセス」が高いものの、多言語対応は低い。
⑤ 図3と図4が示すとおり、特に「医療となる受入環境の整備」については案内やサービスが低いものの、「必要な文化的な環境の充実」については専門的人材の育成や諸外国への情報発信は高い。

問2　Aさんは、【文章】の傍線部A「意義がある」について、どのような意義があるのを具体的に示すため、表現を修正することにした。修正する表現の内容として最も適当なものを、次の ① ～ ⑤ のうちから一つ選べ。解答番号は 2 。

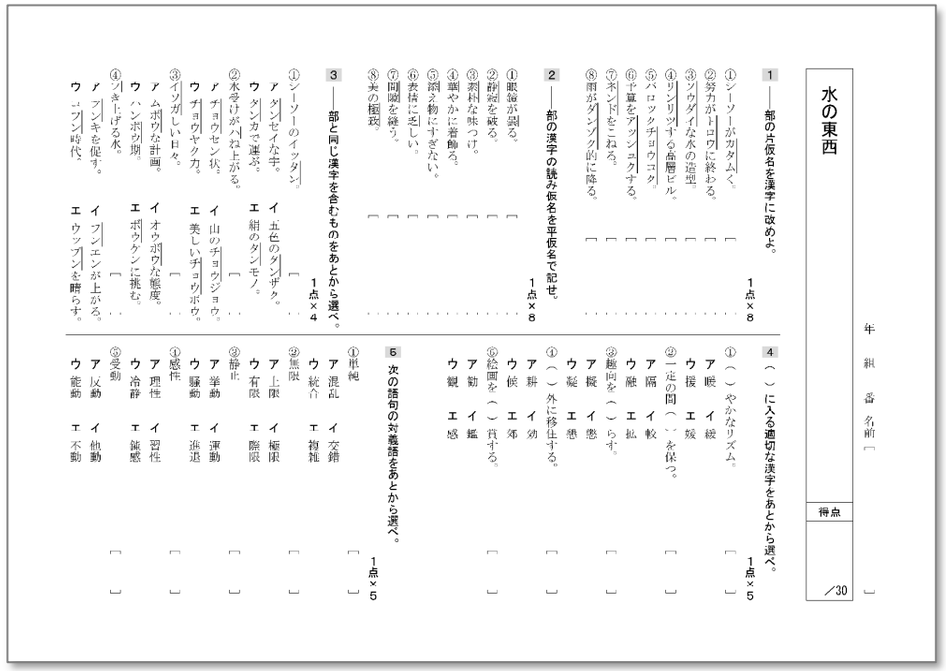
① 深刻化する人手不足への対応として高度外国人の受入れを考えるのではなく、生産性の向上や国内人材の確保を目的としながら雇用環境の改善、省力化、雇用管理の改善等の推進をしていく上で意義がある
② 国内の労働市場に関わる問題として高度外国人の受入れを考えるのではなく、日本の経済社会の活性化を目的としながら高齢者、女性等が活躍できる日本として国際化を図っていくうえで意義がある
③ 単に少子・高齢化に伴う労働力不足への対応として外国人材の受入れを考えるのではなく、単純労働者の受入れを目的としながら日本の経済社会と国民生活の発展を推進していく上で意義がある
④ 単なる労働力不足への対応として高度外国人材の受入れを考えるのではなく、人材育成及び人材確保を目的としながら共生社会の実現を目指し、日本が魅力ある働き先として選ばれる国になるうえで意義がある
⑤ 日本経済と国際化の進展のために高度外国人材の受入れを考えるのではなく、人材確保が困難な産業上の分野の即戦力確保を目的としながら技能、技術又は知識の移転による人づくりに寄与する上で意義がある

実用的な文章の読解練習をするための問題。各単元のテーマにそって、
共通テストと同じ形式で実用的な文章の読解練習ができます。

◎知識・技能確認問題

W

太



年　組　番　名前［　　］

水の東西

得点　／30

1 ――部の片仮名を漢字に改めよ。　1点×8

①ニンソーがカタムく。［　　］
②努力がイロワに終わる。［　　］
③ソウゲイな水の造型。［　　］
④リンリツする点層ビル。［　　］
⑤バロックチョウコク。［　　］
⑥千算をアツンコクする。［　　］
⑦ネン土をこねる。［　　］
⑧雨がダンジクに降る。［　　］

2 ――部の漢字の読み仮名を平仮名で記せ。　1点×8

①眼論が弱る。［　　］
②酎酒を破る。［　　］
③素料な味つけ。［　　］
④華やかに着飾る。［　　］
⑤調え物にすぎない。［　　］
⑥表情に乏しい。［　　］
⑦間隙を縫う。［　　］
⑧夫の極致。［　　］

3 ――部と同じ漢字を含むものをあとから選べ。　1点×4

①ンーソーのイッタン。［　　］
ア　タンセイな子。　イ　五色のタンザク。
ウ　タンカで運ぶ。　エ　絹のタンモノ。

②水受けがバネ上がる。［　　］
ア　チョウセン状。　イ　山のチョウジョウ。
ウ　ブョウヤク力。　エ　美しいチョウボウ。

③イソガしい日々。［　　］
ア　ムボウな計画。　イ　オウ弱な態度。
ウ　ハンボウ期。　エ　ボウケンに挑む。

④ンきーげる水。［　　］
ア　プンキを促す。　イ　プンエンが上がる。
ウ　ュプンン時代。　エ　ウップンを晴らす。

4 （　）に入る適切な漢字をあとから選べ。　1点×5

①（　）やかなリズム。［　　］
ア　暇　イ　緩　ウ　援　エ　媛

②一定の間（　）を保つ。［　　］
ア　隔　イ　較　ウ　融　エ　拡

③趣向を（　）らす。［　　］
ア　擬　イ　悪　ウ　凝　エ　懲

④（　）外に移住する。［　　］
ア　耕　イ　効　ウ　候　エ　郊

⑤絵画を（　）賞する。［　　］
ア　勧　イ　堪　ウ　観　エ　感

5 次の語句の対義語をあとから選べ。　1点×5

①単純［　　］
ア　混乱　イ　交錯　ウ　統合　エ　複雑

②無限［　　］
ア　上限　イ　極限　ウ　有限　エ　際限

③静止［　　］
ア　挙動　イ　渾動　ウ　脳動　エ　進退

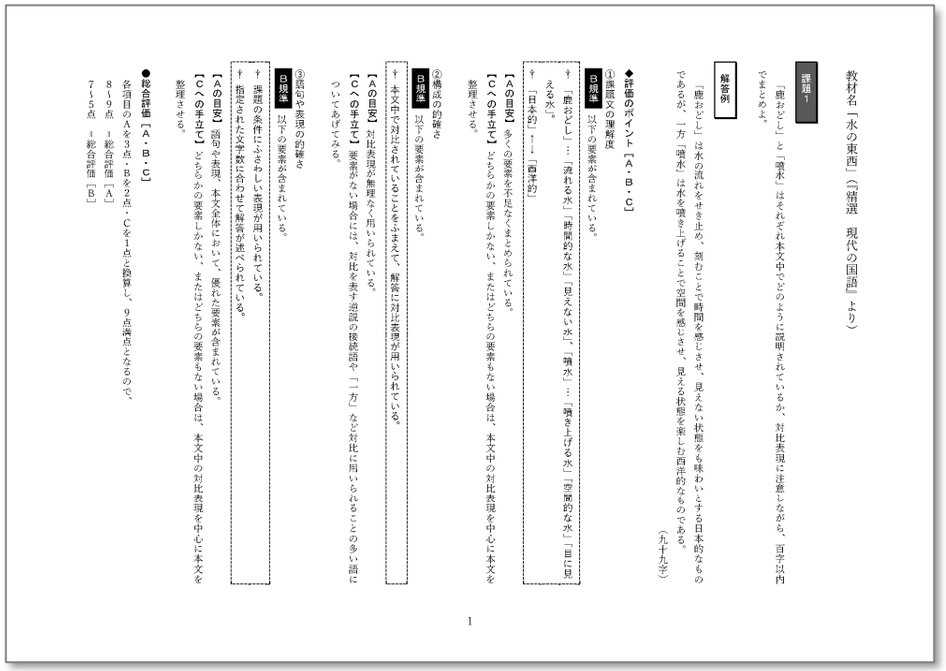
④感性［　　］
ア　理性　イ　習性　ウ　冷静　エ　錯感

⑤受動［　　］
ア　反動　イ　他動　ウ　能動　エ　不動

◎思考力・判断力・表現力トレーニング課題

W

太



教材名「水の東西」（『精選　現代の国語』より）

課題1

「鹿おどし」と「噴水」はそれぞれ本文中でどのように説明されているか、対比表現に注意しながら、百字以内でまとめよ。

解答例

「鹿おどし」は水の流れをせき止め、刻むことで時間を感じさせ、見えない状態をも味わいとする日本的なものであるが、一方「噴水」は水を噴き上げることで空間を感じさせ、見える状態を楽しむ西洋的なものである。（九十九字）

◆評価のポイント［A・B・C］

①課題文の理解度

B規準　以下の要素が含まれている。

†「鹿おどし」…「流れる水」「時間的な水」「見えない水」、「噴水」…「噴き上げる水」「空間的な水」「目に見える水」。

†「日本的」――「西洋的」

【Aの目安】多くの要素を不足なくまとめられている。

【Cへの手立て】どちらかの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、本文中の対比表現を中心に本文を整理させる。

②構成の的確さ

B規準　以下の要素が含まれている。

†本文中で対比されていることをふまえて、解答に対比表現が用いられている。

【Aの目安】対比表現が無理なく用いられている。

【Cへの手立て】要素がない場合には、対比を表す逆接の接続詞や「一方」など対比に用いられることの多い語についてあげてみる。

③語句や表現の的確さ

B規準　以下の要素が含まれている。

†課題の条件にふさわしい表現が用いられている。

†指定された文字数に合わせて解答が述べられている。

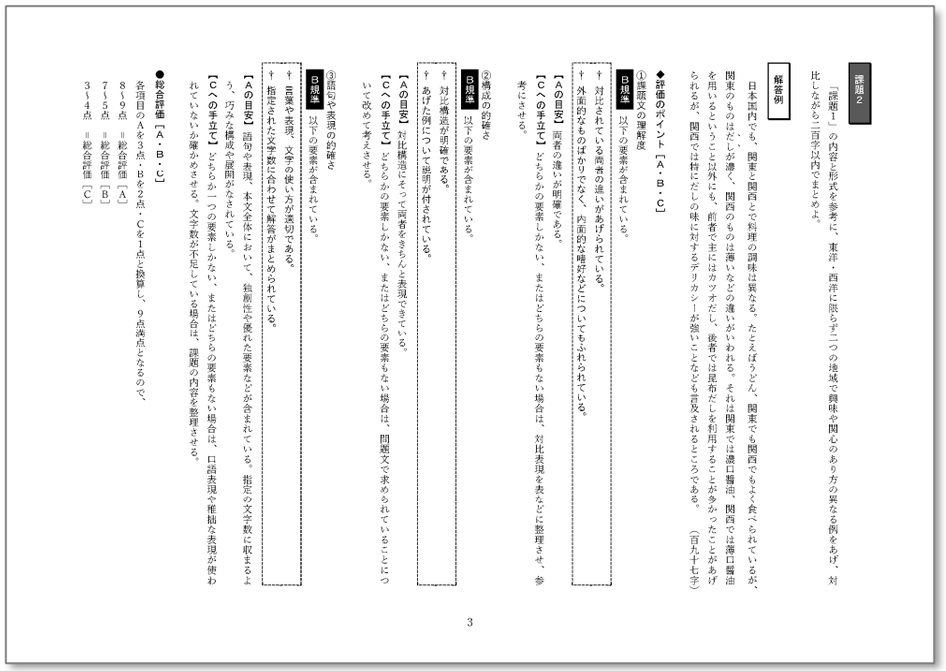
【Aの目安】語句や表現、本文全体において、優れた要素が含まれている。

【Cへの手立て】どちらか一つの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、口語表現や推量の表現を使わないよう心がけさせる。

●総合評価［A・B・C］

各項目のAを3点・Bを2点・Cを1点と換算し、9点満点となるので、

8～9点＝総合評価［A］
7～5点＝総合評価［B］
3～4点＝総合評価［C］



課題2

「課題1」の内容と形式を参考に、東洋・西洋に限らず二つの地域で興味や関心のあり方の異なる例をあげ、対比しながら二百字以内でまとめよ。

解答例

日本国内でも、関東と関西とで料理の調味は異なる。たとえばうどん、関東でも関西でもよく食べられているが、関東のものはだしが濃く、関西のものは薄いなどの違いがいわれる。それは関東では濃口醤油、関西では薄口醤油を用いるということ以外にも、前者で主にはカツオだし、後者では昆布だしを利用することが多かったことがあげられるが、関西では精にだしの味に対するデリカシーが強いことなども言及されるところである。（百九十七字）

◆評価のポイント［A・B・C］

①課題文の理解度

B規準　以下の要素が含まれている。

†対比されている両者の違いがあげられている。

†外面的なものばかりでなく、内面的な嗜好などについてもふれられている。

【Aの目安】両者の違いが明確である。

【Cへの手立て】どちらかの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、対比表現を表などに整理させ、参考にさせる。

②構成の的確さ

B規準　以下の要素が含まれている。

†対比構造が明確である。

†あげた例について説明が付されている。

【Aの目安】対比構造にそって両者をきちんと表現できている。

【Cへの手立て】どちらかの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、問題文で求められていることについて改めて考えさせる。

③語句や表現の的確さ

B規準　以下の要素が含まれている。

†言葉や表現、文字の使い方が適切である。

†指定された文字数に合わせて解答がまとめられている。

【Aの目安】語句や表現、本文全体において、独創性や優れた要素などが含まれている。指定の文字数に収まるよう、巧みな構成や展開がなされている。

【Cへの手立て】どちらか一つの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、口語表現や推量な表現が使われていないか確かめさせる。文字数が不足している場合は、課題の内容を整理させる。

●総合評価［A・B・C］

各項目のAを3点・Bを2点・Cを1点と換算し、9点満点となるので、

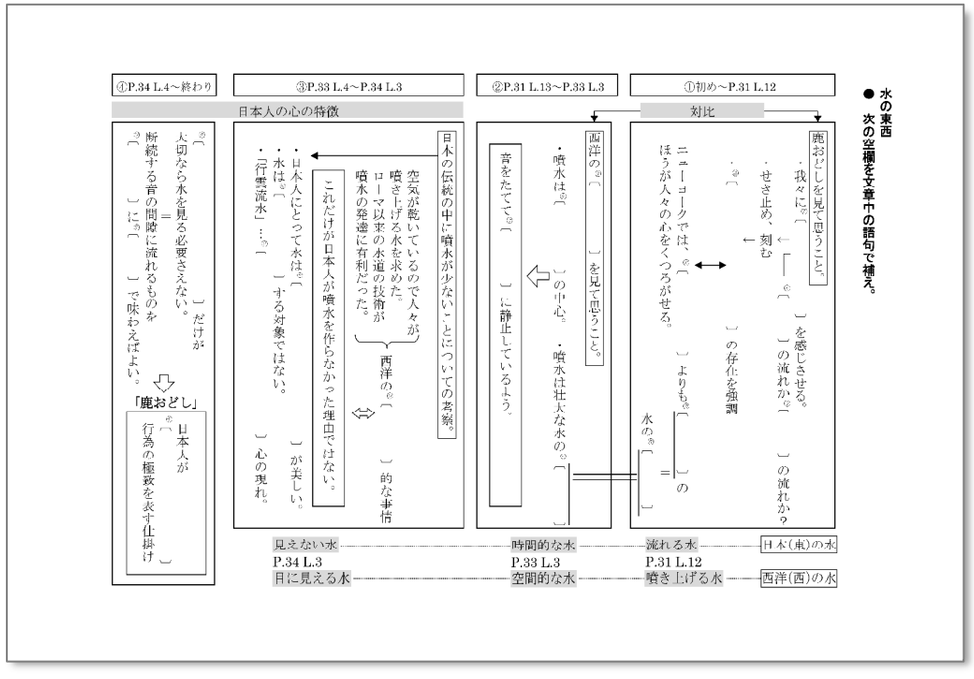
8～9点＝総合評価［A］
7～5点＝総合評価［B］
3～4点＝総合評価［C］

漢字の習得や語彙の拡充のための確認問題。QRコードから学べる「知識・技能デジタルドリル」と対応しています。

各教材にそった記述式の課題。
思考力・判断力・表現力を育成します。

◎内容構成理解シート

PDF 太



● 水の東西
次の空欄を文章中の語句で補え。

①初め～P.31 L.12
対比
鹿おどしを見て思うこと。
・我々に[1]〔　　〕を感じさせる。
・せき止め、刻む ← [2]〔　　〕の流れか[3]〔　　〕の流れか？
・[4]〔　　〕の存在を強調
ニューヨークでは、[5]〔　　〕よりも[6]〔　　〕の
ほうが人々の心をくつろがせる。　水の[7]〔　　〕＝〔　　〕

②P.31 L.13～P.33 L.3
西洋の[8]〔　　〕を見て思うこと。
・噴水は[9]〔　　〕の中心。・噴水は壮大な水の[10]〔　　〕
音をたてて[11]〔　　〕に静止しているよう。

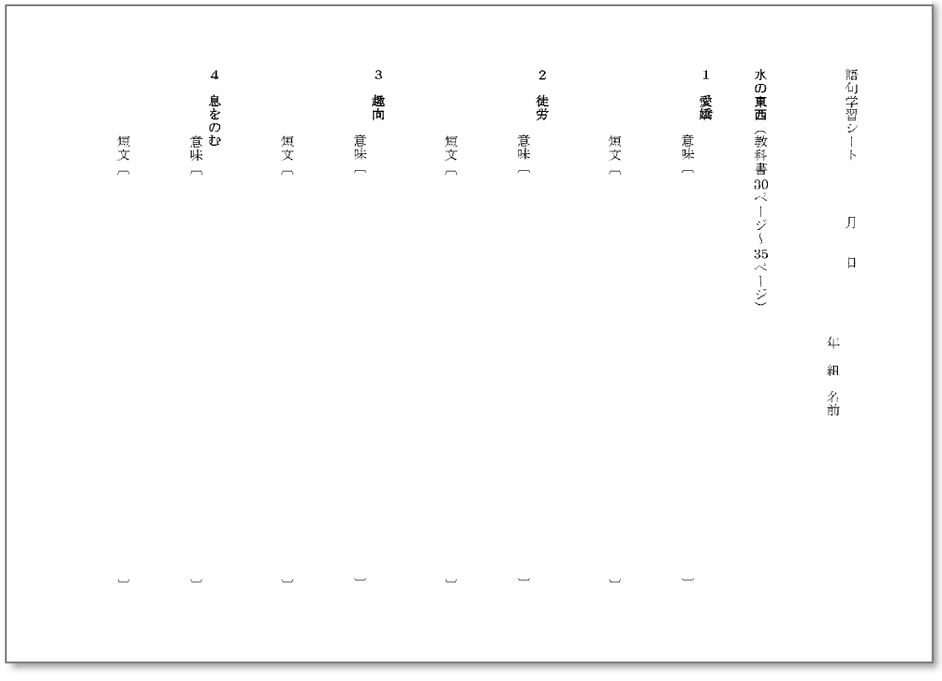
③P.33 L.4～P.34 L.3
日本人の心の特徴
日本の伝統の中に噴水が少ないことについての考察。
空気が乾いているので人々が噴き上げる水を求めた。
ローマ以来の水道の技術が噴水の発達に有利だった。
西洋の[12]〔　　〕的な事情
これだけが日本人が噴水を作らなかった理由ではない。
・日本人にとって水は[13]〔　　〕が美しい。
・水は[14]〔　　〕する対象ではない。
・「行雲流水」…[15]〔　　〕心の現れ。

④P.34 L.4～終わり
[16]〔　　〕だけが大切なら水を見る必要さえない。
断続する音の間隙に流れるもの[17]〔　　〕を味わえばよい。
「鹿おどし」
日本人が[18]〔　　〕行為の極致を表す仕掛け

見えない水 P.34 L.3 ―― 日に見える水
時間的な水 P.33 L.3 ―― 空間的な水
流れる水 P.31 L.12 ―― 噴き上げる水
日本(東)の水 ―― 西洋(西)の水

◎語句シート

W 太



語句学習シート　月　日　年　組　名前

水の東西（教科書30ページ～35ページ）

1 愛嬌
意味〔　　〕
短文〔　　〕

2 徒労
意味〔　　〕
短文〔　　〕

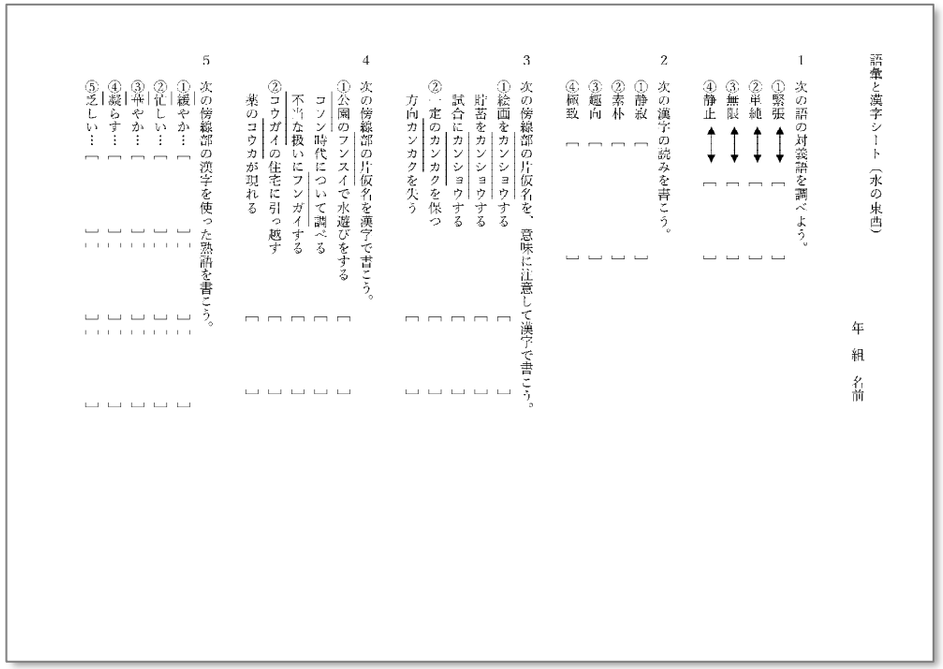
3 趣向
意味〔　　〕
短文〔　　〕

4 息をのむ
意味〔　　〕
短文〔　　〕

本文の重要語句の意味を辞書で調べたり、短文を作ったりしながら定着させるワークシート。

◎語彙と漢字シート

W 太



語彙と漢字シート（水の東西）　年　組　名前

1 次の語の対義語を調べよう。
①緊張 ↔ 〔　　〕
②単純 ↔ 〔　　〕
③無限 ↔ 〔　　〕
④静止 ↔ 〔　　〕

2 次の漢字の読みを書こう。
①静寂〔　　〕
②素朴〔　　〕
③趣向〔　　〕
④極致〔　　〕

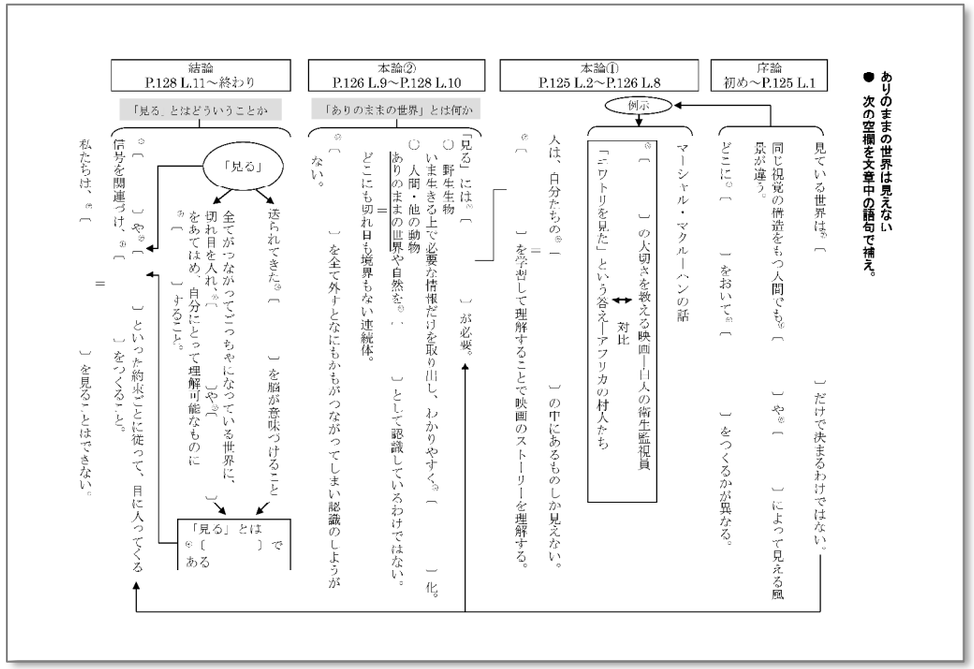
3 次の傍線部の片仮名を、意味に注意して漢字で書こう。
①絵画をカンショウする〔　　〕
貯蓄をカンショウする〔　　〕
試合にカンショウする〔　　〕
②一定のカンカクを保つ〔　　〕
方向カンカクを失う〔　　〕

4 次の傍線部の片仮名を漢字で書こう。
①公園のフンスイで水遊びをする〔　　〕
コフン時代について調べる〔　　〕
不当な扱いにフンガイする〔　　〕
②コウガイの住宅に引っ越す〔　　〕
巣のコウカが現れる〔　　〕

5 次の傍線部の漢字を使った熟語を書こう。
①緩やか…〔　　〕
②忙しい…〔　　〕
③華やか…〔　　〕
④疑らす…〔　　〕
⑤乏しい…〔　　〕

本文の重要漢字を練習して、語彙として身につけるためのワークシート。

◎ありのままの世界は見えない



● ありのままの世界は見えない
次の空欄を文章中の語句で補え。

序論 初め～P.125 L.1
見ている世界は。〔　　〕だけで決まるわけではない。
同じ視覚の構造をもつ人間でも。〔　　〕や。〔　　〕によって見える風景が違う。
どこに。〔　　〕をおいて。〔　　〕をつくるかが異なる。

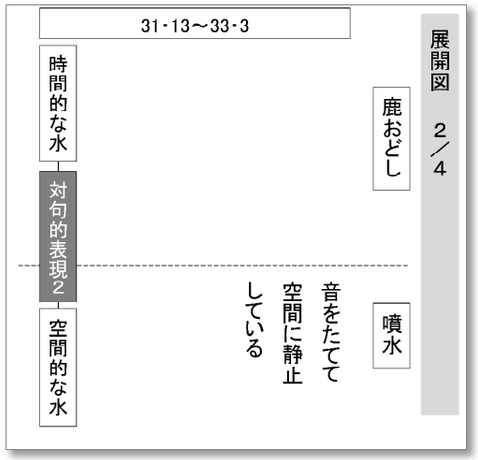
本論① P.125 L.2～P.126 L.8
例示
マーシャル・マクルーハンの話
[1]〔　　〕の人切さを教える映画―日人の衛生監視員
対比
「ミ・ワトリを見た」という答え―アフリカの村人たち
人は、自分たちの[2]〔　　〕＝〔　　〕の中にあるものしか見えない。
[3]〔　　〕を省略して理解することで映画のストーリーを理解する。

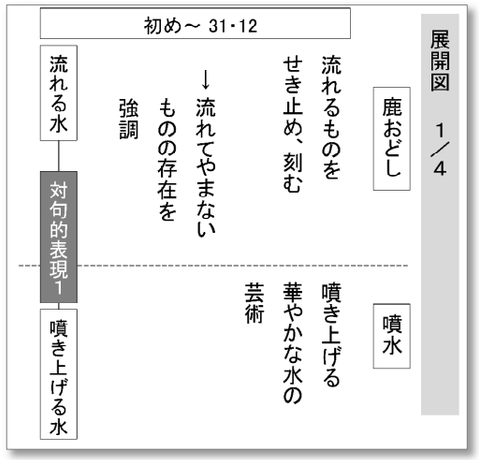
本論② P.126 L.9～P.128 L.10
「ありのままの世界」とは何か
「見る」には。〔　　〕が必要。
〇 野生生物
いま生きる上で必要な情報だけを取り出し、わかりやすく。〔　　〕化。
〇 人間・他の動物
ありのままの世界や自然を。〔　　〕として認識しているわけではない。
どこにも切れ目も境界もない連続体。
[4]〔　　〕を全て外すとなにもかもがつながってしまい認識のしようがない。

結論 P.128 L.11～終わり
「見る」とはどういうことか
「見る」
送られてきた。〔　　〕を脳が意味づけること
全てがつながってごっちゃになっている世界に、切れ目を入れ、[5]〔　　〕や[6]〔　　〕をあてはめ、自分にとって理解可能なものに[7]〔　　〕すること。
「見る」とは〔　　〕で
[8]〔　　〕する
[9]〔　　〕あ
[10]〔　　〕や。[11]〔　　〕といった約束ごとに従って、目に入ってくる信号を関連づけ、[12]〔　　〕をつくること。
私たちは、[13]〔　　〕を見ることはできない。

空欄に書き込みながら本文の構成や内容の要点を理解するためのワークシート。予習・復習用としても活用できます。

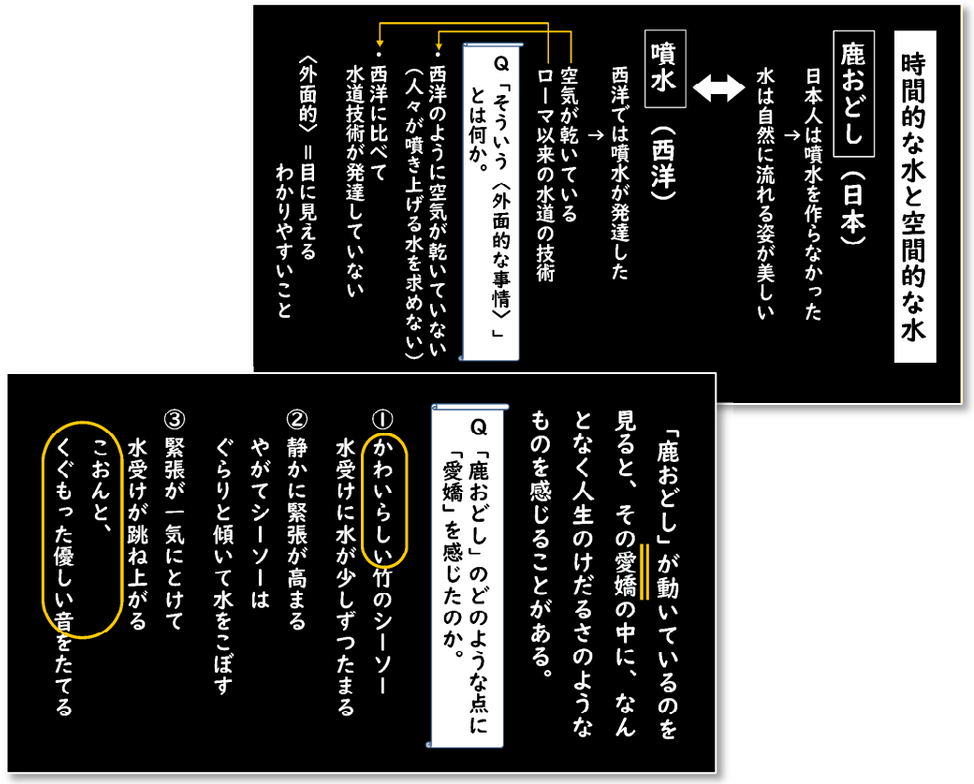
◎提示用展開図パワーポイント PP





本文の構成を展開にそって図解したパワーポイントデータ。
全体構成を視覚的に理解することができます。

◎提示用板書パワーポイント PP



授業展開にそって、板書代わりに提示して使えるパワーポイントデータ。
本文のキーワードをおさえたり、発問の答えを確認したりしながら、
授業を進めることができます。

◎学習課題ノートデータ W 太

水の美学　山崎正和【教科書P．99〜P．103】　　検印［　　］

全体の構成を理解しよう　　目標　◎説明の方法を理解する

「鹿おどし」のリズム（初め〜100・7）	・「鹿おどし」の動き 水がたまる＝緊張の高まり → 水がこぼれる＝緊張の解放 → の繰り返し… 何世も起こらない徒労 我々に流れてやまないものの存在を感じさせる。
「噴水」と「鹿おどし」の違いから浮かび上がる「日本人独特の感性」（100・8〜103・1）	・西洋人―「噴水」を好む。 →水は静止のような流動する対象。 →空間的な水。 ・日本人―伝統の中に「噴水」は少ない。 →水は自然に流れる姿が美しい。 →西洋人と違った独特の好み。 →形なきものを恐れない心。
「鹿おどし」とは何か（103・2〜終わり）	・「鹿おどし」＝断続する音の響きから水を感じる。 ＝日本人による水の感覚の極致を表す仕掛け。

漢字を確認しよう

1 次の　線部の漢字は読みを、片仮名は漢字を書きなさい。

① 緩［　　］やかなリズム。
② トロウ［　　］に終わる。
③ 刺戟［　　］な夜。
④ ゾボク［　　］な音色。
⑤ 音と音との間隙［　　］。
⑥ ハザ［　　］やかな衣装。
⑦ 趣向を凝［　　］らす。
⑧ 間隙［　　］を縫う。
⑨ 映画をカンショウ［　　］する。
⑩ 美のキョクチ［　　］。

文章の理解を深めよう

1 この文章で、筆者は比較という方法によって論を進めている。それぞれの部分で、何と何を、どのように比較しているかに注意して読もう。

1 教科書91ページ〜92ページ7行めまでを読んで、「鹿おどし」（91・1）の特徴を捉えよう。

1 「鹿おどし」のどんなところに「人生のけだるさのようなもの」（91・1）を感じるのか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 単純で穏やかな、徒労ともいえる動きの繰り返しであるところ。
イ 緊張が高まったりほどけたり、緩急のある動きをするところ。
ウ 自然の、ありふれたものの組み合わせであるところ。
エ 水がたまらなければ、竹のシーソーが動かないところ。

2 ① 緊張が高まりながら（91・3）、② 緊張が、気にとけて（91・5）とはそれぞれ、竹のシーソーがどのような状態にある時か。次の空欄にあてはまる語句を本文中から抜き出しなさい。

①竹の。［　／　／　／

◎付属教材集

W

太

無常のリズム

山崎正和

夏をいろどる風物詩のなかで、花火ほど魅惑的で、そしていかにも日本的な美を見せるものは少ないだろう。

川の水面に映る打上花火、線香のまわりにはじける線香花火、日本人なら誰しもその鮮やかな光彩と、それが消えたあとに残る闇の深さを見つめた記憶があるはずである。

あるときは菊の花を描き、あるときは松の葉のかたちをつくり、それは豪壮であるほどの火を、優しい心で飼いならした藝術だといえる。セーヌ河のうえでも、ハドソン河のうえでも、私は日本の花火ほど絢爛として、しかも典雅な火の饗宴を見たことがない。

いうまでもなく、火を敬い、火を畏れる心は世界中にひろがっている。有名な京都の大文字の送り火にしても、起源はたぶん中国か、遠く西アジアの信仰に求められる。光を造形藝術にまで高めることなら、西洋のランプを燈台ははるかに日本の行燈をしのいでいる。おそらく周囲の花火そのものも、原型は火薬とともに南蛮伝来の魔術であったにちがいない。

けれども花火は、たんに燃えつづける光と熱の藝術ではない。それは一瞬に燃えあがり、たちまち燃えつきる変化によってひとの心を魅惑する。灯火が光の永遠性を象徴しているとすれば、花火は闇のなかに生成する火のいのちを象徴しているといえる。

たしかに世阿弥であったろうか、花火のなかには〔序・破・急〕のリズムがある、と書いた随筆家があった。始めはゆっくり動きを起こし、なおほど激しく開花すると、やがて瞬間にかかって永遠に消えて行く。この三段の生成のリズムは、古くから日本の伝統的な藝術の骨格をかたちづくって来た。能の大成者、世阿弥によれば、この〔序・破・急〕は水の流れにも鳥の鳴く音にも認められる。舞や歌はもちろんのこと、とんとひと踏みする足音のなかにも、この日本的なリズムが働いているという。

始めがあり、中があり、終わりがあり、それが整然たるリズムに乗って展開するとき、われわれはものごとが〔完結〕したという印象を受ける。変化のなかにはっきりした段落があり、その段落がたがいに響きあっているときに変化は全体としてまとまりを見せる。よく調教された役者の体操が美しいのは、それが変化のなかに〔完結〕しているからである。

そして、日本人ほどこの〔序・破・急〕のリズムに敏感であり、一瞬の変化のなかにまとまりを感じとる感受性をめぐまれているのかもしれない。〔B〕一のなかにも、始めと中と終わりを感じとったわれわれの先祖は、十七字の俳句のなかに完結した感情を盛りこむことに成功した。だとすれば、この独特の感受性が、花火という、いわば純粋な「変化」そのもののような美を育てたとしてもふしぎではないのである。

はじめて見た消える夏の夜の花火を見ていると、ふと、そこはかとない悲しみがただようことは事実である。日本人は昔からそういう「はかなさ」に心ひかれ、人生の無常に耽溺して来たと信じられている。それはたしかにその通りなのだが、しかしその同じ日本人が、ふしぎに一方で極端なニヒリズムに走らなかったことも事実なのである。人生の無常をかこちながら、われわれの先祖はそのなかにけっこう安定した自然を見出していた。そしてそれはたぶん、「瞬の変化のなかにも「序・破・急」を感じとる、あの敏感な秩序の感覚のせいにちがいないのである。

（山崎正和『山崎正和著作集5』一九八一年・中央公論社）

実力問題（無常のリズム）

〔一〕次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

夏をいろどる風物詩のなかで、花火ほど魅惑的で、そしていかにも日本的な美を見せるものは少ないだろう。

川の水面に映る打上花火、線香のまわりにはじける線香花火、日本人なら誰しもその鮮やかな光彩と、それが消えたあとに残る闇の深さを見つめた記憶があるはずである。

あるときは菊の花を描き、あるときは松の葉のかたちをつくり、それは豪壮であるほどの火を、優しい心で飼いならした藝術だといえる。セーヌ河のうえでも、ハドソン河のうえでも、私は日本の花火ほど絢爛として、しかも典雅な火の饗宴を見たことがない。

いうまでもなく、火を敬い、火を畏れる心は世界中にひろがっている。有名な京都の大文字の送り火にしても、起源はたぶん中国か、遠く西アジアの信仰に求められる。光を造形藝術にまで高めることなら、西洋のランプを燈台ははるかに日本の〔　B　〕をしのいでいる。おそらく周囲の花火そのものも、原型は火薬とともに南蛮伝来の魔術であったにちがいない。

けれども花火は、たんに燃えつづける光と熱の藝術ではない。それは一瞬に燃えあがり、たちまち燃えつきる変化によってひとの心を魅惑する。灯火が光の永遠性を象徴しているとすれば、花火は闇のなかに生成する火のいのちを象徴しているといえる。

たしかに世阿弥であったろうか、花火のなかには〔序・破・急〕のリズムがある、と書いた随筆家があった。始めはゆっくり動きを起こし、なおほど激しく開花すると、やがて瞬間にかかって永遠に消えて行く。この三段の生成のリズムは、古くから日本の伝統的な藝術の骨格をかたちづくって来た。能の大成者、世阿弥によれば、この〔序・破・急〕は水の流れにも鳥の鳴く音にも認められる。舞や歌はもちろんのこと、とんとひと踏みする足音のなかにも、この日本的なリズムが働いているという。

始めがあり、中があり、終わりがあり、それが整然たるリズムに乗って展開するとき、われわれはものごとが〔完結〕したという印象を受ける。変化のなかにはっきりした段落があり、その段落がたがいに響きあっているときに変化は全体としてまとまりを見せる。よく調教された役者の体操が美しいのは、それが変化のなかに〔完結〕しているからである。

そして、日本人ほどこの〔序・破・急〕のリズムに敏感であり、一瞬の変化のなかにまとまりを感じとる感受性をめぐまれているのかもしれない。〔　D　〕一のなかにも、始めと中と終わりを感じとったわれわれの先祖は、十七字の俳句のなかに完結した感情を盛りこむことに成功した。だとすれば、この独特の感受性が、花火という、いわば純粋な「変化」そのもののような美を育てたとしてもふしぎではないのである。

はじめて見た消える夏の夜の花火を見ていると、ふと、そこはかとない悲しみがただようことは事実である。日本人は昔からそういう「はかなさ」に心ひかれ、人生の無常に耽溺して来たと信じられている。それはたしかにその通りなのだが、しかしその同じ日本人が、ふしぎに一方で極端なニヒリズムに走らなかったことも事実なのである。人生の無常をかこちながら、われわれの先祖はそのなかにけっこう安定した自然を見出していた。そしてそれはたぶん、「瞬の変化のなかにも「序・破・急」を感じとる、あの敏感な秩序の感覚のせいにちがいないのである。

（山崎正和『山崎正和著作集5』一九八一年・中央公論社）

問一　傍線1「それは豪壮であるはずの火を、優しい心で飼いならした藝術だといえる」について、次の問いに答えよ。

（1）「それ」とは何を指すか。

（2）「火」が「豪壮であるはず」なのはなぜか。考えて答えよ。

（3）「優しい心で飼いならした藝術だといえる」のはなぜか。説明せよ。

幅広いカリキュラム・授業展開にお使いいただける付属教材集。
補充教材や読み比べの素材としてご利用いただけます。それぞれにテスト問題がついているので、実力テストにも活用できます。

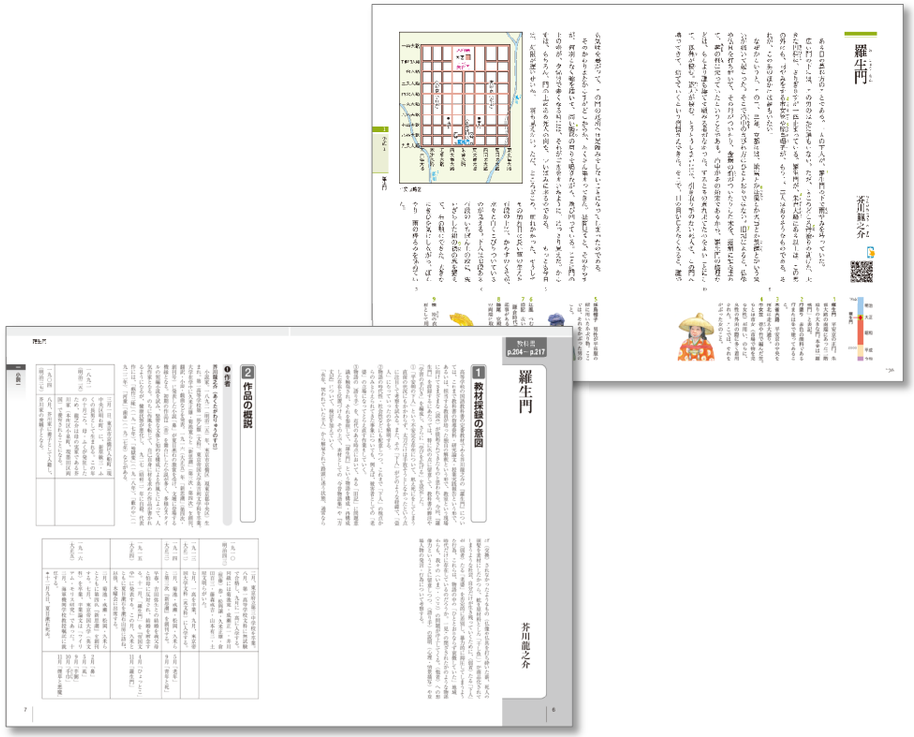
現代の国語」付属教材集ラインナップ

- 美しい」の境界を飛び越えよう　田中真知）
- 思想〉の現在形　吉岡洋）
- 創造力のゆくえ　加藤周一）
- 選べる社会」の難しさ　松田美佐）
- 絶え間のない流れの中にある生命　福岡伸一）
- 日本人と日本語　野元菊雄）
- 美を求める心　小林秀雄）
- 無常のリズム　山崎正和）
- 「もの」の科学から「こと」の科学へ　池田清彦）
- 余暇について　内山節）

三省堂国語教書共通 付属教材集ラインナップ

- 猿　芥川龍之介）
- 猿ヶ島　太宰治）
- 清兵衛と瓢箪　志賀直哉）
- なめとこ山の熊　宮沢賢治）
- 猫町　萩原朔太郎）
- 富嶽百景　太宰治）
- 夢十夜第一夜・第六夜　夏目漱石）
- 羅生門　芥川龍之介）
- 鯉のうへ　三好達治）
- 汚れつちまつた悲しみに　中原中也）

さらに、指導書には、近代・現代の小説教材の
教科書紙面・指導資料PDF版・指導用データ一式が同梱されます。



◎教科書紙面PDF

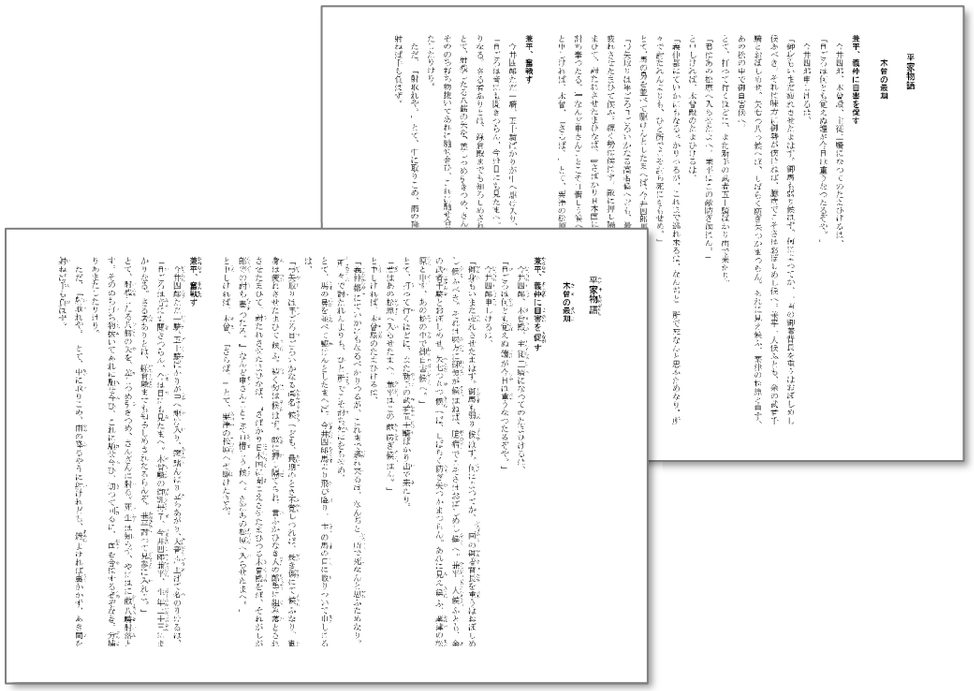
PDF

教科書紙面のPDF版。タブレットに入れて持ち運んだり、教科書紙面を大きく提示したりすることができます。

◎教科書原文データ

太

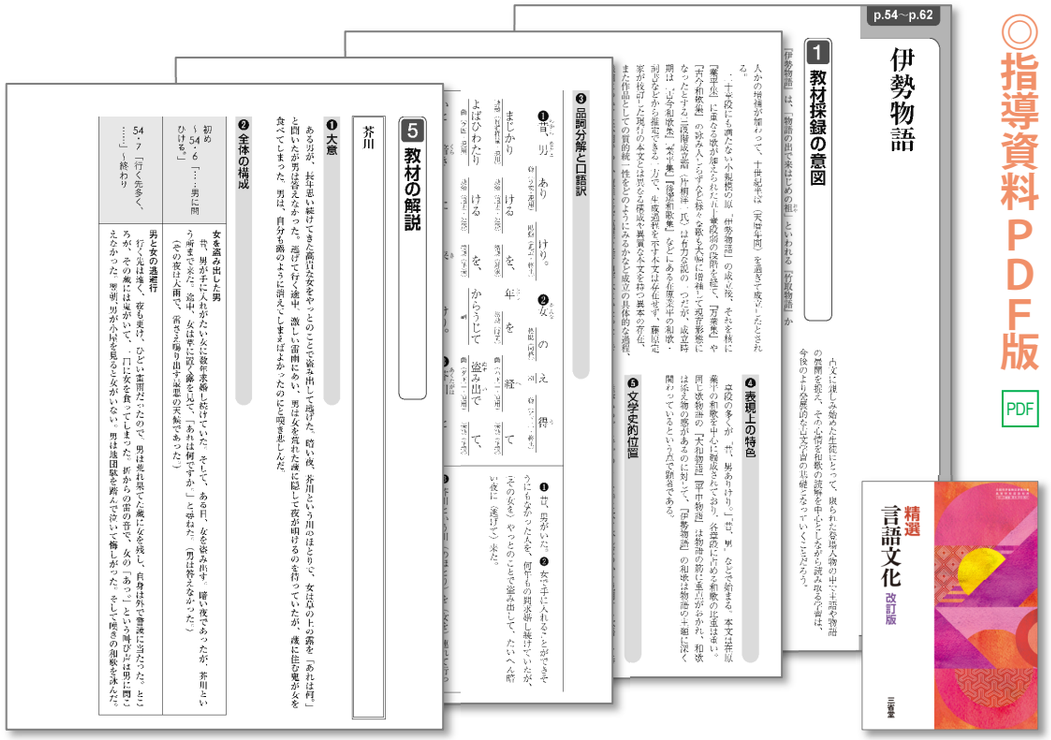
W

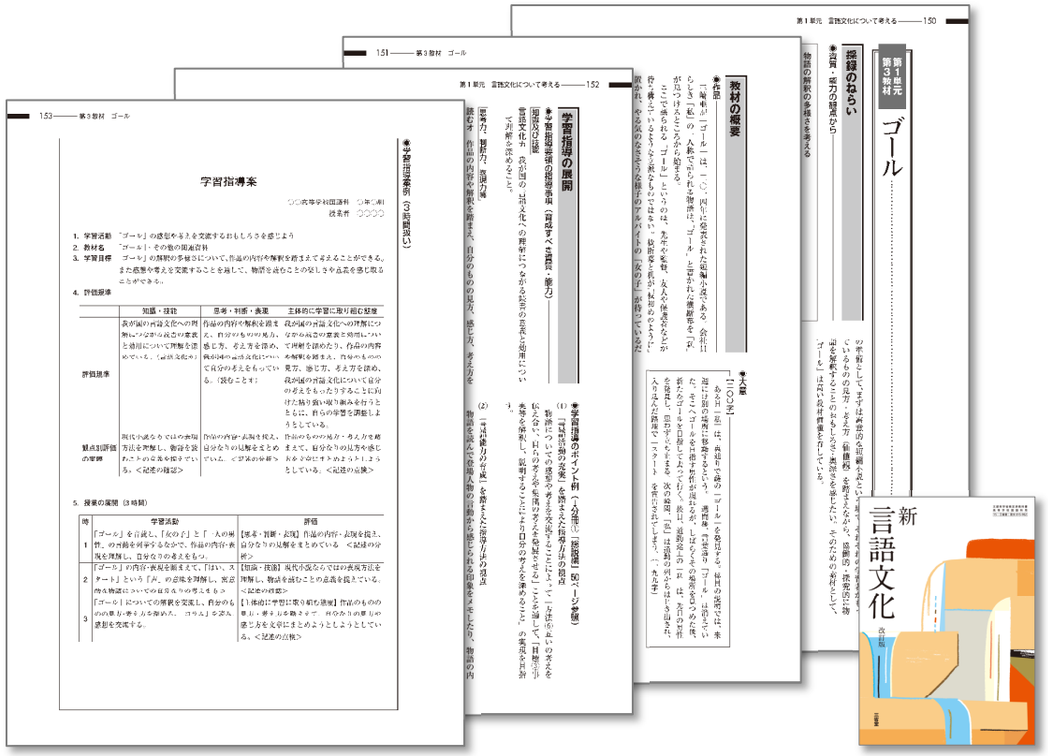


教科書教材本文のテキストデータ。総ルビのデータもあります。

◎指導資料PDF版

PDF





指導書内の指導資料のPDF版。タブレットに入れて持ち運んだり、必要な情報を検索したりすることができます。

◎難易度別テスト問題 W 太

伊勢物語（芥川）

〔一〕次の文章を読んで、後の問いに答えよ。【難易問題1】

昔、男ありけり。女の忍びて行くを、年を経てよばひわたりけるを、からうじて盗み出でて、いと暗きに来けり。芥川といふ川を率て行きければ、草の上に置きたりける露を、「かれは何ぞ、」と問ひ給ふに、時は六月のつごもりなりけり。雨いと激しくて雷も鳴りければ、あばらなる倉に、女を奥に押し入れて、男、弓・胡籙を負ひて戸口に居り。はやく夜も明けなむと思ひつつあたりけるに、鬼はやく一口に食ひてけり。あな、や、と言ひけれど、神鳴る騒ぎに聞かざりけり。やうやう夜も明けゆくに、見れば率て来し女もなし。足摺をして泣けどかひなし。

白玉か何ぞと人の問ひし時露と答へて消えなましものを

これは、業平の歌。昔、いとこの女、紀有常御もとに、通ひまつるやうにてゐ給へりけるを、かたらのいとめでたくおぼえければ、盗みて負ひて出でたりけるを、御兄、堤中納言の大納言、まだ下臈にて内裏へ参り給ふに、いみじう泣く人あるを聞きつけて、とどめてとり返さるるにけり。それをかく鬼とは言ふなりけり。

まだいとうらうたかりしにおほせてけりける時とや。

問一　傍線1「昔、男ありけり。」の話として最も適切なものを次のアからエまでから一つ選び、記号で答えよ。

ア　何年にもおよんで　イ　年をとるにつれて
ウ　年ごろになって　エ　年月がたってから

問二　傍線2「この『なれ』の用法と同じ用法で用いられているものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

①　出でなむとなりける　②　梅咲きなむ　③　とて参りなむ　④　はや往なむ

問三　傍線3「入る」の主語として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

①　男　②　女　③　鬼　④　雷

問四　傍線4「『白玉か何ぞ』とは何か。」の意味として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

①　露　②　涙　③　草の上　④　月

問五　傍線5「『あばらなる倉』とあるが、業平はどのような思い切った行動をしているか。」の答えとして適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

①　外出は控えようと思い移動も制限される。　②　駆け落ちする。
③　女の家に通い詰めるようになる。　④　家を捨てる。

問六　傍線6「『鬼』とは何か。」について、次の問いに答えよ。

(1)　傍線6の直後、「この『女』が『鬼』にまたがりけるを」と何であるか説明されていない。何であるか説明せよ。

問七　傍線7「『鬼』は『神』とは何か。」について、次の問いに答えよ。

問八　傍線8「『鬼』は『神』に食ひ」とあるが、このように、男が行動した理由を説明せよ。

問九　傍線9「『鬼』は『神』に食ひ」とあるが、このように、男が行動した理由を説明せよ。

問十　傍線10「『あな、や』とは何か。」について、次の問いに答えよ。

(1)　「あな、や」の前に、「男」の心情として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

①　恋人を失った悲しみを解放したいと思った。　②　私だけが生き残ることができたのは幸運だった。
③　もっと恋人を大切にしてあげればよかった。　④　こうなったのも不運とあきらめるしかない。

◎知識・技能確認問題 W 太

鶏鳴狗盗

年　組　番　名前［　　］

得点　／20

1　――部の字の読みをあとから選べ。　1点×5

①　臭能刈。　［　　］
②　乃夜為狗、　［　　］
③　求之已去。　［　　］
④　遂発伝出。　［　　］
⑤　削足之後、　［　　］

ア　ここ　イ　ことば
ウ　すで　エ　つひ
オ　なし　カ　上
キ　つく

2　――部の字の読みを平仮名（現代仮名遣い）で記せ。　1点×6

①　臭能刈。
②　乃夜為狗、
③　幸姫為言昭王、
④　有能為鶏鳴、
⑤　而鶏斉鳴、
⑥　資客尽羞之。

3　――部の語句の意味をあとから選べ。　1点×4

①　乃求見孟嘗君。

ア　すぐに　イ　たやすく
ウ　そこで　エ　そのたびごとに

②　「臣能得狐白裘。」

ア　家臣　イ　君主
ウ　あなた　エ　わたくし

③　得出則馳去、

ア　すぐに　イ　たやすく
ウ　そこで　エ　そのたびごとに

④　而鶏斉鳴。

ア　しかし　イ　そこで
ウ　そして　エ　やがて

4　次の漢文を書き下し文に改めよ。　1点×2

①　使人抵昭王幸姫求解。

［　　］

②　鶏鳴而出客。

［　　］

5　次の漢文の意味をあとから選べ。　1点×3

①　願得君狐白裘。

ア　どうかあなた様が狐白裘を手に入れてください。
イ　どうかあなた様の狐白裘を私のものにさせてください。
ウ　あなた様が狐白裘を手に入れることを願っています。
エ　あなた様が狐白裘を私のものにすることを願っています。

②　莫能対。

ア　答えようとする者がいた。
イ　答えることができないのであった。
ウ　答えなければならなかった。
エ　答えることができる者はいなかった。

③　使人馳伝逐之。

ア　部下に馬車でこれを追うよう命じた。
イ　部下に馬車をあらせこれを迫わせた。
ウ　部下を使って馬車を走らせこれを追った。
エ　部下に馬車を走らせこれを迫った。

羅生門

芥川龍之介

〔一〕次の文章を読んで、後の問いに答えよ。【難易問題2】

「この雨を background に、この門の下へ来て、雨やみを待っていたのだが、」

下人は、最初の Question を、また、繰り返した。すると、今度も、老婆は、すぐに、答えが出て来た。

「雨やみを待っていたのだとな。――すると、行く当てのない奴だな。――」

下人は、老婆の答えを、聞き終ると、すぐに、Image を、頭の中で、組み立てはじめた。――この、荒れ狂う、雨風の夜に、この、羅生門の下へ来て、雨やみを、待っていた、行く当てのない、下人が、やがて、この、老婆の、Image に、なって、現れ出て来たのである。――

下人は、暫く、その、Image の、Reality を、信じまいとする、Attitude で、その、Image を、眺めていた。――Reality を、信じまいとする、Attitude で、その、Image を、眺めていた。――

Image は、Reality を、信じまいとする、下人の、Attitude に、Reality の、Strength が、Image に、Reality を、与へる、Strength を、与へる

◎思考力・判断力・表現力トレーニング課題

W

太

教材名「伊勢物語　芥川」（『新　言語文化』より）

課題1

「白玉か」の和歌がこの作品全体に与える影響について百字程度で自分の考えを述べよ。

解答例

「白玉」「露」「消え」という言葉が、作品全体に幻想的で透明な雰囲気を与えている。また「白玉」から女の無垢な美しさが想起され、露のようにはかなく消えるという表現によって、夢物語のような美しい切なさを感じ出している。（百六字）

◆評価のポイント【A・B・C】

①現代文の理解度

B規準 以下の要素が含まれている。

†和歌と作品全体の世界観をつなげて説明している。

【Aの目安】 自分の考えを述べる上で、独創性や優れた要素が含まれている。

【Cへの手立て】 和歌の解釈が不十分であったり、誤っていたりした場合は、和歌の鑑賞について確かめさせる。

②構成の的確さ

B規準 以下の要素が含まれている。

†和歌が作品全体に与える影響について、その関係性を明確に説明している。

【Aの目安】 和歌と作品全体の関係性を述べる上で、本文の内容をふまえた付加的な要素が含まれている。

【Cへの手立て】 関係性が曖昧であったり、的確でなかったりした場合は、解答を見直させ、和歌と作品のつながりについて再考させる。

③語句や表現の的確さ

B規準 以下の要素が含まれている。

†言葉や表現、文字の使い方が適切である。

†指定された文字数に合わせて解答が述べられている。

【Aの目安】 語句や表現などに優れた要素が含まれている。

【Cへの手立て】 どちらか一つの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、課題の内容を確かめさせる。

●総合評価【A・B・C】

各項目のAを3点・Bを2点・Cを1点と換算し、9点満点となるので、

8～9点＝総合評価［A］

7～5点＝総合評価［B］

3～4点＝総合評価［C］

とすることが考えられる。

その場合、解答例は①～③の評価のポイントに対して、

①＝B

②＝B

1

課題2

本文中には、間接体験に基づく過去を表す「けり」が多用されているが、「女」がいなくなったことに気づいた場面では「率て来し女もなし」（98・1）と直接体験した過去を表す「き」が使われている。このことから読み取れることを百字程度で説明せよ。

解答例

語り手は第三者の視点で、伝聞などの間接体験に基づく過去の助動詞「けり」を使って語ってきたが、ここに至って「女」を失った「男」と一体化していることがわかる。語り手は、時を超えて「男」の悲しみを共有しているのである。（百六字）

◆評価のポイント【A・B・C】

①現代文の理解度

B規準 以下の要素が含まれている。

†過去の助動詞の使い分けについて明確にしている。

†語り手の視点の変化について言及している。

【Aの目安】 助動詞の使い分けが意味するところを述べる上で、独創性や優れた要素が含まれている。

【Cへの手立て】 どちらか一つの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、過去の助動詞の意味を確認させた上で、回答を見直させる。

②構成の的確さ

B規準 以下の要素が含まれている。

†助動詞の使い分けと視点の変化について、その関係性が明確である。

【Aの目安】 助動詞が与える視点の変化について述べる上で、本文をふまえ、付加的な要素が含まれている。

【Cへの手立て】 助動詞の使い分けと視点の変化についての関係性が明確でない、または適切でない場合は、課題が要求していることを確認した上で、解答を見直させる。

③語句や表現の的確さ

B規準 以下の要素が含まれている。

†言葉や表現、文字の使い方が適切である。

†指定された文字数に合わせて解答が述べられている。

【Aの目安】 語句や表現などに優れた要素が含まれている。

【Cへの手立て】 どちらか一つの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、課題の内容を確かめさせる。

●総合評価【A・B・C】

各項目のAを3点・Bを2点・Cを1点と換算し、9点満点となるので、

8～9点＝総合評価［A］

7～5点＝総合評価［B］

3～4点＝総合評価［C］

とすることが考えられる。

その場合、解答例は①～③の評価のポイントに対して、

①＝B

3

各教材にそった記述式の課題。
思考力・判断力・表現力を育成します。

◎内容構成理解シート

PDF

太

孟嘗君物語

● 次の空欄を文章中の語句で埋え。

斉の孟嘗君

数千人の「食客」を招き、厚遇

「鶏鳴」の働きによる脱出

①（　　）の沿っ子

②（　　）の脱出

夜半

函谷関

③（　　）が鳴くまで旅人を出さない

④（　　；　　）のできる食客が鳴きまねをして関を開ける。

孟嘗君の脱出成功

「狗盗」の働きによる釈放

秦の①（　　）

捕らえて殺そうとする

昭王の寵愛

②（　　）、

釈放を依頼

③（　　）を所望

既に①（　　）の元に献上してしまっていた

④（　　）（犬）のように忍び込める食客が盗み出す。

孟嘗君の釈放

孟嘗君の見識への感服

①（　　）の賓客（食客）

二人が同列にいることを恥じる

②（　　）盗の者

③（　　；　　）のできる者

孟嘗君を救出した働き

④（　　）見識に感服、、の

空欄に書き込みながら本文の構成や内容の要点を理解するための
ワークシート。予習・復習用としても活用できます。

◎語句シート

W

太

語句学習シート　　月　　日　　年　　組　　名前

伊勢物語

芥川（教科書96ページ～98ページ）

1　えゝ打消

品詞［　　］（え）

意味［　　］

2　わたる

品詞［　　］活用の種類［　　］

意味［　　］

3　いと

品詞［　　］

意味［　　］

4　率る

品詞［　　］活用の種類［　　］

意味［　　］

本文の重要語句の意味を辞書で調べたり、短文を作ったりしながら定着させるワークシート。

◎書き下し文・口語訳シート

W

太

伊勢物語

東下り

昔、男がいた。その男は、（自分の）身を役に立てないものと思いこんで、京にはいるまい、東国の方に住むのによい所を求めに（行こう）と思って出かけた。以前から友人と言える人、一人二人ともに出かけた。道を知っている人もなくて、迷いながら行った。三河の国、八橋という所に着いた。そこを八橋といったのは、水の流れていく川が蜘蛛の巣のように八方に分かれているので、橋を八つ渡してあることによって、八橋といった。（男たちは）その沢のほとりの木の陰に馬から下りて座って、乾飯を食べた。その沢にかきつばたがたいへん美しく咲いている。それを見て、ある人が言うには、「かきつばた」という五文字を和歌の各句のはじめに読み込んで、旅の思いを歌め」と言ったので、（男が）詠んだ（歌）。

唐衣を着ているうちになじみ深く思われるように、長年親しんだ妻がいるので、（こうして）京にいる事から遠く離れて（行くのは）はるばるやって来た旅をしみじみと思うのです。

と詠んだので、（同行の）人々は皆、乾飯の上に涙を落として（乾飯が）ふやけてしまった。

さらにどんどん行って駿河の国に着いた。宇津の山に着いて、自分が入ろうとする道は、たいへん暗く細い上に、馬や人様は戻り、なんとなく心細く、思いがこないが（つらい）目をあることだと思っていると、修行者が（やって来て出会った。この人たちは、京に、盛されの御もとへと言って、手紙を書いてことづける。

（私たちが通り合いた）駿河にある宇津の山の、その名のように、現実（うつつ）にも夢にもあなたに会わないことだなあ。

富士の山を見ると、五月の末頃に、雪がたいへん白く降り積もっている。

噂聞を知らない山は富士の山だよ。いったい今をいつと思って、鹿の子の斑のこだら模様のように雪が降り積もっているのだろうか。

その山は、ここ（京）の地でたとえるならば、比叡山を二つ三つ積み重ねたほどの高さで（あって）、形は阪尻のようだった。

さらにどんどん進んで、武蔵の国と下総の国との間に、たいへん大きな川がある。それをすみだ川という。その川のほとりに（一行が）集まって座って、（京に）思いをはせると、渡る方もなく遠くに来てしまったことだなあ。と嘆き合っていると、渡し舟の船頭が、「早く舟に乗れ。日も暮れてしまう。」と言うので、乗って（下総の国に）渡ろうとするけれど、人々は皆なんとなくうらめしくて、（しかたがない）といっても京に恋しく思う人がいないわけでもないのである。ちょうどその時、白い鳥で、くちばしと脚が赤く、鴨ほどの大きさである鳥が、水の上で遊びながら魚を食べている。見には見かけない鳥なので、人々は誰も見知らない。船頭に尋ねたところ、「これこそ都鳥というものだ。」と言うのを聞いて、

「都」という名を持っているならば、さあ尋ねよう、都の人、私が（いとしく）思う人は（都で）無事でいるかどうか。

と（男が）詠んだので、舟の中の人は皆泣いてしまった。

◎品詞分解シート

W

太

伊勢物語

芥川

昔、男ありけり。

女のえ得まじかりけるを、

年を経てよばひわたりけるを、

からうじて盗み出でて、いと暗きに

来けり。芥川といふ川を

率て行きければ、

草の上に置きたりける露を、

「かれは何ぞ。」となむ男に

問ひける。行く先多く、夜も

更けにければ、鬼ある所

とも知らで、神さへいといみじう

鳴り、雨もいたう降りければ、

あばらなる蔵に、女をば奥に

押し入れて、男、弓・胡簶を負ひて戸口

にをり。はや夜も明けなむ

と思ひつつゐたりける

伊勢物語

芥川

昔　男　ありけり

昔　名詞（今実・連用）　助動（過去・終止）　ラ変（ラ変・連用）　助動（過去・終止）

女の　格助（同格）　え　副詞（ア下一・終止）　得　動詞（ア下一・連用）　まじかり　助動（打消推量・連用）　ける　助動（過去・連体）

を、

年を　格助（時間）　経て　動詞（ハ下二・連用）　よばひわたりける　動詞（ラ四・連用）　助動（過去・連体）　を、

からうじて　副詞　盗み出で　動詞（ダ下二・連用）　て、　接助（単接）　いと　副詞　暗き　形容詞（ク・連体）　に

来　動詞（カ変・連用）　けり。　助動（過去・終止）　芥川　名詞　と　格助（引用）　いふ　動詞（ハ四・連体）　川　名詞　を

率　動詞（ワ上一・連用）　て　接助（単接）　行き　動詞（カ四・連用）　ければ　助動（過去・已然）　接助（順接確定）

草の　格助（体格）　上　名詞　に　格助（場所）　置き　動詞（カ四・連用）　たり　助動（存続・連用）　ける　助動（過去・連体）　露　名詞　を、　格助（対象）

「かれは　代名詞（不定）　何　名詞　ぞ　係助（強意）　」　と　格助（引用）　なむ　係助（強意）・（係）　男　名詞　に

問ひ　動詞（ハ四・連用）　ける。　助動（過去・連体）・（結）　行く　動詞（カ・連用）　先　名詞　多く、　形容詞（ク・連用）　夜　名詞　も

更け　動詞（カ下二・連用）　に　助動（完了・連用）　ければ　接助（順接確定）　鬼　名詞　ある　動詞（ラ変・連体）　所

と　格助（引用）　も　係助（強意）　知らで　動詞（ラ四・未然）　で　接助（打消）　神　名詞　さへ　副助（添加）　いと　副詞　いみじう

鳴り、　動詞（ラ四・連用）　雨　名詞　も　係助（並列）　いたう　形容詞（ク・連用・ウ音便）　降り　動詞（ラ四・連用）　ければ　助動（過去・已然）　接助（順接確定）

あばらなる　形動（ナリ・連体）　蔵　名詞　に、　格助（場所）　女　名詞　を　格助（対象）　奥　名詞　に　格助（場所）

押し入れて、　動詞（カ下二・連用）　て、　接助（単接）　男、　名詞　弓・胡簶　名詞　を　格助（対象）　負ひ　動詞（ハ四・連用）　て　接助（単接）　戸口

にをり。　動詞（ラ変・終止）　はや　副詞　夜　名詞　も　係助（強意）　明け　動詞（カ下二・未然）　なむ　終助（他に対する願望）

と　格助（引用）　思ひ　動詞（ハ四・連用）　つつ　接助（並列）　ゐ　動詞（ワ上一・連用）　たり　助動（存続・連用）　ける　助動（過去・連体）

古文教材の品詞分解を書き込むためのワークシート。

鶏肋物語

秦の昭王は孟嘗君が賢人であると聞き、そこで孟嘗君に会うことを願ってきた。（やがて昭王の求めに応じて出向いてきた）孟嘗君が秦に入国したので、昭王はそこで（孟嘗君を客に）留め、捕らえて殺してしまおうとした。孟嘗君は人を通じて女性の門に行き史殺放することを求めさせた。お気に入りの女性は言った、「その代わりに（あなたの（持ってきたという）狐の白い皮衣が欲しいのです。」と。この時、孟嘗君は一匹の狐の白い皮衣を持っていた。下命の伝説があり、この世に一つとないものであった。秦に入った時にこれを昭王に献上して、他にその皮衣は持っていなかった。孟嘗君はこの事柄に困り、次々（並れてきていた）食客たちに（対策を）尋ねたが、誰も出せる者はいなかった。（すると）最も下座にいるのまれをしてきます。」と。そこで（その食客は）夜に犬のこまねをし、そうして秦の宮殿の中に忍び入り、（孟嘗君が昭王に）献上した狐の白い皮衣をぬすんで、（孟嘗君のもとに）戻ってきて、そうして（孟嘗君はそれを昭王の）お気に入りの女性に贈りました。その女性は（孟嘗君の）ために（昭王にとりなし、昭王は孟嘗君を釈放した。

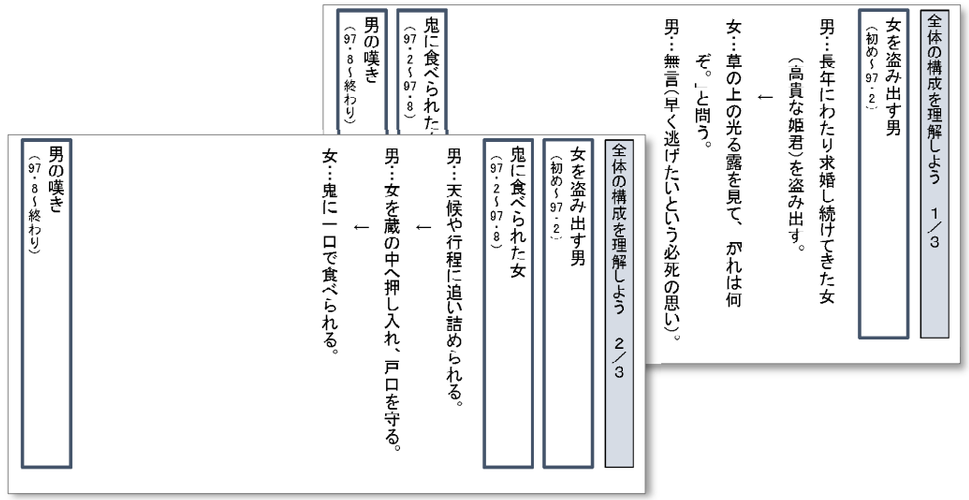
孟嘗君は脱出することができると、すぐさま駆けて逃げ、名前を変え、そうして西合関を出ようとした。（そこで）夜中に関谷関に着いた。（一方）秦の昭王はあとになって孟嘗君を出してしまったことを悔い、後を追い掛け、もうすでに逃げていた。（しかし）関所のおきてとして、鶏が鳴いて始めて客を出す。我々の法律は厳しい。（そのため）孟嘗君は関谷関に留められたところ、これこそ鶏肋というものだ。」と言うのを聞いて、

「鶏肋」という名前を持っているならば、さあ尋ねよう、都の人、私がいとしく思う人は（都で）無事でいるかどうか。

と（男が）詠んだので、舟の中の人は皆泣いてしまった。

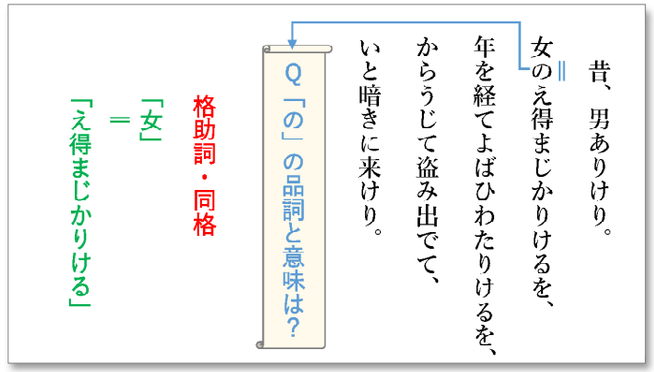
指導資料にある漢文教材の書き下し文と古典教材の口語訳を抜き出したテキストデータ。

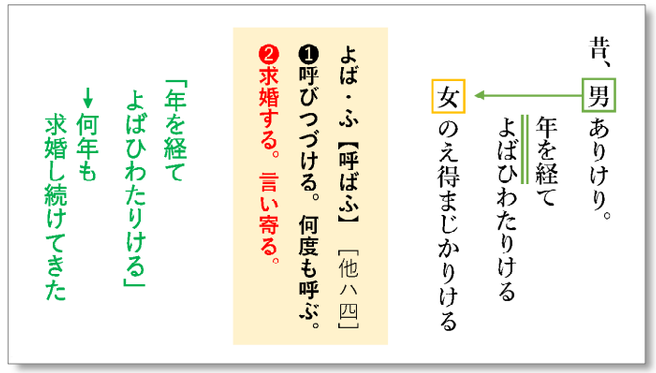
◎提示用展開図パワーポイント PP



本文の構成を展開にそって図解したパワーポイントデータ。
全体構成を視覚的に理解することができます。

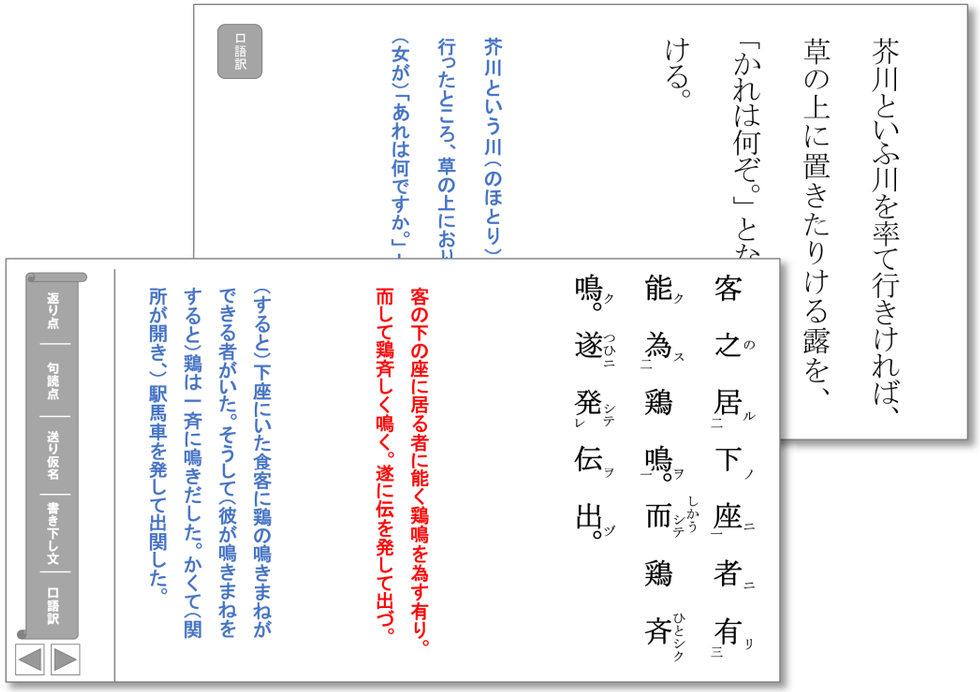
◎提示用板書パワーポイント PP





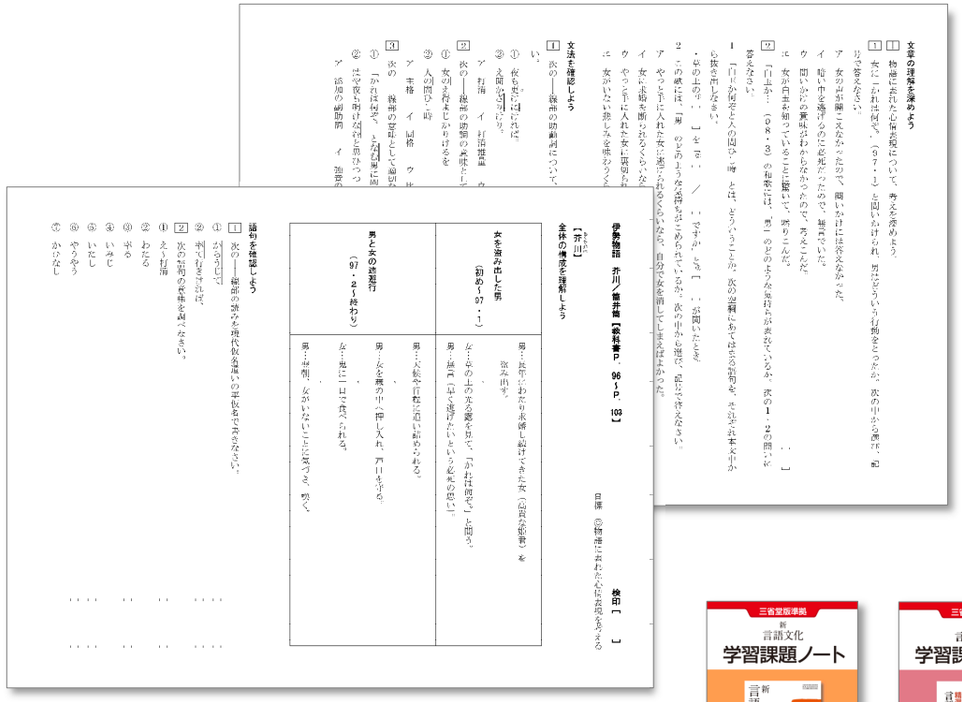
授業展開にそって、板書代わりに提示して使えるパワーポイントデータ。
本文のキーワードをおさえたり、発問の答えを確認したりしながら、
授業を進めることができます。

◎提示用本文パワーポイント PP



古文・漢文の本文を大きく提示できるパワーポイントデータ。
口語訳・書き下し文・訓点はオン・オフも可能です。

◎学習課題ノートデータ W 太



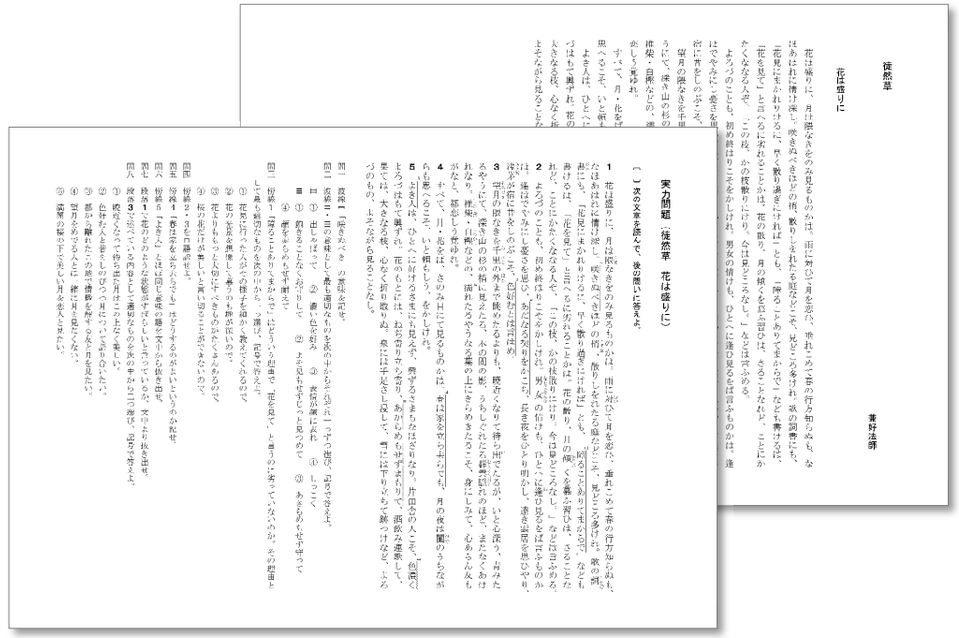
別売の「学習課題ノート」
のテキストデータ。

◎付属教材集

W

太

幅広いカリキュラム・授業展開にお使いいただける付属教材集。補充教材や読み比べの素材としてご利用いただけます。それぞれにテスト問題がついているので、実力テストにも活用できます。



言語文化」付属教材集ラインナップ

- 宇治拾遺物語　田舎の児、桜の散るを見て泣くこと
- 徒然草　兼好法師）ある人、弓射ることを習ふに
- 枕草子　清少納言）五月ばかりなどに
- 伊勢物語　行く蛍
- 平家物語　猫間
- 奥の細道　松尾芭蕉）白河
- 呉越同舟　孫子〉
- 晏子之御　史記〉
- 復活　千宝）
- 孟子

三省堂国語教書共通付属教材集ラインナップ

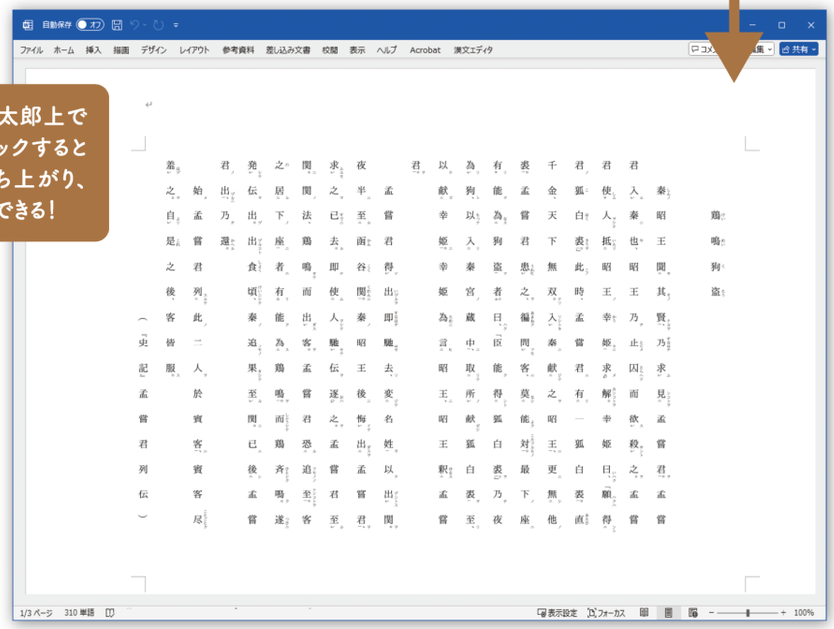
- 猿　芥川龍之介）
- 猿ヶ島　太宰治）
- 清兵衛と瓢箪　志賀直哉）
- なめとこ山の熊　宮沢賢治）
- 猫町　萩原朔太郎）
- 富嶽百景　太宰治）
- 甃のうへ　三好達治）
- 汚れつちまつた悲しみに　中原中也）

◎漢文エディタ

Word／一太郎への書き出し後の再編集に対応。手軽に漢文の編集を行うことができます。

編集後、ボタン一つでWord／一太郎に書き出し可能！

Word／一太郎上で漢文をクリックするとディタが立ち上がり、すぐに修正できる！



漢文エディタは「言語文化」「古典探究」指導書の付属データとして、「ことまな学校サポートサイト」からプログラムをダウンロードしてお使いいただけます（Windows版のみのご提供です）。

主な機能
- 文字ごとの訓点、句読点、振り仮名、送り仮名などの設定
- 行間の設定
- Word／一太郎への書き出し（再編集可）